



# 「寝ても疲れが取れない」

そんな悩みをお持ちではありませんか？  
眠りは疲れを取るためにあるはずなのに、なぜ・・・？  
実はぐっすり快適に眠る方法がここにあるのです

## 理屈抜きの心地よさをあなたに…ドイツ・ビラベック社の羊毛ふとん

### 睡眠が浅いと成長ホルモンが充分に出ない

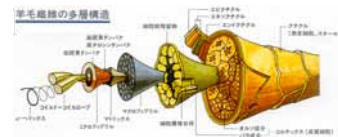
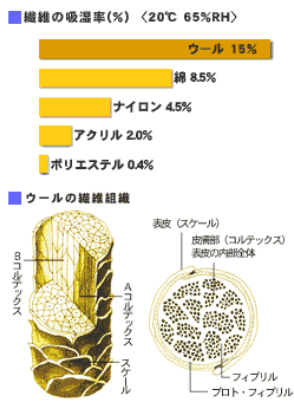
睡眠時には成長ホルモンが分泌されて疲労回復の働きをします。ところが寝返りが多かたたりすると、そのたびに脳が反応してしまい眠りが浅くなります。ふとんの寝心地がよいと寝返りも少なくなります。つまりふとんの寝心地=安眠というわけです。

### 安眠のための寝床内気候って？

安定した眠りのための、ふとんのなかの快適な温度と湿度のことを「寝床内気候」といいます。最適な状態は温度33℃湿度50%。これが一番気持ちのいい状態で、人間はもっとも代謝が良く、リラックスできると科学的に証明されています。それに適したふとん素材は羽毛・羊毛・絹などの動物性素材なのです。

### 呼吸する生きている羊毛のキューティクル

ビラベック社が作る羊毛ふとんの原料はフランスの上質な、きわめてクリンプ(ちぢれ)の強いウールです。そのウールは最小限の中性洗剤と多量の清水で洗浄されます。その他の余分な加工は一切必要ありません。羊毛はキューティクルが吸湿発散の役割を担っていますが、ビラベックの羊毛は樹脂加工されていないので、羊毛の良さを最大限に発揮します。健康な羊毛の吸湿性は木綿の2倍、ポリエステルなんと37倍もあります。やはり天然素材は呼吸しているのです。素晴らしい！健康を考えるなら断然、天然繊維がベストです。



2014.6 ドイツの農場にて



### 羊毛を活かす通気性抜群のニット生地

ビラベックの羊毛はクリンプが強いため、ダウンブルーフ加工していないエジプト綿のニット生地を使っています。これは通常の100倍以上の通気性があるので、蒸れにくく、肌への感触もやさしく、最高に快適な寝心地を約束できるのです。

### 世界で最初に羊毛ふとんを作ったビラベック

ビラベックは1948年に世界で最初に羊毛ふとんを作ったメーカーです。今から40年ほど前にビラベックの羊毛ふとんが輸入されました。日本の羊毛ふとんの歴史は、ビラベックのコピーから始まったのです。

### 質の悪い羊毛は、羊毛の良さを活かさない

ところが、次第に質の悪い羊毛が使われるようになってしまいました。その欠点を補うために樹脂加工やウォッシュャブル加工と称して、キューティクルを取り除く加工が広く行われるようになりました。しかしこれでは、羊毛本来の良さは損なわれてしまいます。さらに側生地にはウールの繊維が出てこないようにウールプルーフ加工がなされます。これでは寝ている間にかく汗は十分に吸湿発散されません。天然素材の良さが生かされないのです。

### 日本の気候に合わせた、リネン麻生地

ビラベックの羊毛は自然そのままを活かします。吸放湿に優れ、非常に蒸れにくい快適な布団です。ところが、日本では夏に熱がこもる傾向にありました。そこで、眠りのプロシヨップSawadaではリトアリアSiuras社のリネン生地を使い、片面に麻をつかうことで、熱がこもりにくいオリジナル仕様の布団を提供しています。

# 原点に戻れば、そこに答がありました

## 本物を探して・・・

1998年頃の話。それまでは日本の有名メーカーの羊毛ふとんを扱っていました。当時の羊毛ふとんはスチーム&ドライ加工と樹脂加工されているものがほとんどでした。

樹脂加工した羊毛ふとんは長年使っていると樹脂が剥離して、ホコリになるという問題が出ていました。本物の羊毛ふとんは無いのだろうか、あちこち訪ねて行き着いたのがビラベックの羊毛ふとんでした。

## ビラベックは日本の羊毛ふとんの原点

ということにそこで気が付いたのです。何よりもマコトリコットと呼ばれるニット生地 of 気持ち良さが他を圧していました。「そういえば昔の羊毛ふとんは全部片面がニット地だったよね」。それは日本のメーカーがビラベックを真似て作ったからなのですが、いつの間にか通常の生地に変っていました。ニット生地はクリンプ（ちぢれ）の少ない羊毛やホコリの多い羊毛では使えないのです。

## ドイツのビラベック工場を訪ねる

本物の現場を見に行こう！そう思って1999年にドイツ・ビラベック社の工場を訪れました。そこで見たものは、要求水準を満たさないために原料倉庫に返品を待つ原料と、写真は禁じられたものの、何の変哲も無い工場でした。要は良い原料だけを厳選して、不要な加工はせずに作る、という当たり前のことを当たり前として行っていた工場だったのです。ドイツのマイスター魂の片鱗を見せられたのです。

## リネン麻を使ってオリジナル

吸湿発散性も保温性も非常に優れたビラベックでしたが、暑い日本の夏には泣き所がありました。さらっとして蒸れ感はほとんどありませんが、少し熱がこもる傾向にあるのです。それまで裏面に使っていた綿サテンを麻に代えれば涼しくなるのではないかと



ドイツのビラベック本社工場  
原料は 48 時間エージングされる。エアマート社長と。

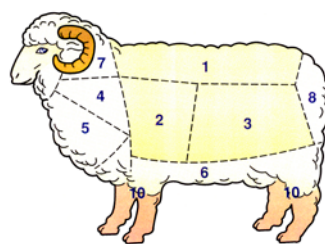
2007年1月ドイツ・フランクフルトの見本市に国産の麻生地を20m持込、サンプル品を作ってもらうことにしました。結果は上々、熱のこもりは激減。眠りのプロショップSawadaオリジナルの羊毛敷ふとん、ベッドパッドの誕生です。現在ではリトアニアのマスターオブリネンの認定工場であるシウラス社にオリジナルの生地を織ってもらい、ドイツの工場加工。全量買取にしたことで、リネン生地を使っても価格を抑えることに成功しました。



リネン麻生地付  
オリジナル  
羊毛ベッドパッド  
シングル 36,300 円  
羊毛敷ふとん  
シングル 60,500 円  
(10% 税込)

## ビラベックは羊毛わたの良いところだけを使う

掛ふとん用は 1 だけを、敷ふとん用は 1～3 だけを使い、品質の落ちる部位の羊毛は使いません



## ↑通気性抜群の マコトリコット生地

一般の羊毛ふとん用生地比べると 120 倍ほど通気性が良いので、羊毛の良さを最大限に活かすことができます。

## ケンブリッジ大で証明 羊毛ふとんは良く育つ

羊毛ふとんは蒸れずに快適なので赤ちゃんの睡眠が良く、成長ホルモンが多く出るからだと言われていました。

**ウーリーな羊毛の成長が早い**

ケンブリッジ大学実験

この実験は約 4 週間で、平均 3.5 歳と稱し、粗毛の重さは約 30kg あり、粗毛の長さも約 10cm あり、粗毛の色も黒い。羊毛の成長が早いのは、羊毛の質が良いからである。羊毛の成長が早いのは、羊毛の質が良いからである。

羊毛の成長が早いのは、羊毛の質が良いからである。羊毛の成長が早いのは、羊毛の質が良いからである。

経済産業省 2015 がんばる中小企業・小規模事業者 300 選定 第 9 回グリーン購入大賞 大賞受賞